



マシコット

# 議会だより

No.  
135  
平成28年  
12月定例会



～陶の郷混声合唱団  
歌声響く議場コンサート～



今回の議会だよりは 3月 6月 9月 12月 定例会です

- 12月定例会審議結果 ..... 2
- 一般質問 ..... 3~10
- 研修・常任委員会活動 ..... 11
- 議会を傍聴して ..... 12

# 一般質問

8名の議員が登壇！

会議録の閲覧も  
できます  
議会閉会後3か月  
ほどで、町のHPに  
掲載しますので、

益子町議会  
↓  
会議録検索  
↓  
会議録検索システム  
でご覧ください。

12月定例会

## 益子町議会基本条例制定

平成28年第151回定例会は、12月1日から6日までの6日間の会期で開かれました。補正予算6件など下記の議案のほか、地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書（賛成多数）が原案どおりで可決されました。

### 平成28年度補正予算

中学校に  
洋式トイレ設置

平成28年度12月補正予算は全員賛成で可決されました。

会計区分	補正前の額	12月補正予算額	合計
一般会計	81億131万円	2億8,205万円	83億8,336万円
特別会計	国民健康保険	△3,712万円	33億7,717万円
	後期高齢者医療	△395万円	1億8,631万円
	介護保険	372万円	15億4,496万円
	内保険事業	372万円	15億3,597万円
	訳サービス事業	0万円	899万円
	公共下水道事業	456万円	6億527万円
	農業集落排水事業	179万円	1億389万円
	合計	2億5,105万円	142億96万円

#### 【歳出補正予算の主な内容】

- ・臨時福祉給付金事業（6,716万円）
- ・中学校衛生設備改修工事（6,071万円）

### 条例の制定・一部改正

（全員賛成）

○益子町議会基本条例の制定  
益子町議会の基本的な事項について定めました。

（全員賛成）

○益子町農業委員会の委員及び農地利用最適化  
推進委員の定数を定める条例の制定（全員賛成）

（全員賛成）

○益子町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等  
に関する条例の一部改正（全員賛成）

（全員賛成）

○益子町長等の給与及び旅費に関する条例の  
一部改正（全員賛成）

（全員賛成）

○益子町一般職の給与に関する条例及び益子町  
一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に  
関する条例の一部改正（全員賛成）

（全員賛成）

○益子町農民健康保険税条例の一部改正（全員賛成）

（全員賛成）

○益子町指定地域密着型介護予防サービスの  
事業の人員、設備及び運営並びに指定地域  
密着型介護予防サービスに係る介護予防の  
ための効果的な支援の方法に係る基準等を  
定める条例の一部改正（全員賛成）

（全員賛成）

○益子町指定地域密着型介護予防サービスの  
事業の人員、設備及び運営並びに指定地域  
密着型介護予防サービスに係る介護予防の  
ための効果的な支援の方法に係る基準等を  
定める条例の一部改正（全員賛成）

（全員賛成）

○益子町国民健康保険税条例の一部改正（全員賛成）

（全員賛成）

○益子町指定地域密着型介護予防サービスの  
事業の人員、設備及び運営並びに指定地域  
密着型介護予防サービスに係る介護予防の  
ための効果的な支援の方法に係る基準等を  
定める条例の一部改正（全員賛成）

（全員賛成）

○益子町地域資源総合管理施  
設の指定管理者の指定（全員賛成）

### 指定管理者の指定

## 12月定例会 一般質問



高橋 美江 議員

質問要旨

#### ◆益子町の観光政策について



高橋

新ましろ未来計画において  
きまして観光の基幹産

観光客誘客促進活動について

た。今後は新ましろ未来計画でうたっているように観光の基幹産業化・滞在型観光を目指していきたいと考えています。様々な角度から核になる新しいコンセプトを作り出す必要があり、それが益子ならではの観光の核になるものに繋がると考えています。

何かわかりやすいキヤツチフレーズを100回陶器市を迎えるこの時期に整理整頓し、統一した情報発信と

**高橋** 益々多様化した観光が必要とされる中、環境や文化を取り入れた温泉地でない観光地のあり方が益子らしいと思うが、町としてどのように考えるかお伺いします。

**高橋** 様々多様化した観光が必要とされる中、環境を取扱い入江と温泉地で

共にC.I活動をしていく事も  
必要ではないでしょうか。  
**町長** 実はこの一言が日本遺  
産登録に求められていい  
る事であり、ブラッショアツ  
プをして最終的に益子といつ  
たら同じような言葉を言える  
よう今後持つていきたい。

業化という事で七つの具体的な行動と共に数値目標が示されています。観光客入込み数を185万人から2020年には250万人に。外国人観光客の宿泊者数においては2020年には700人にするというその目標を達成する為の手法があるのかお伺いします。

高橋

目前となつた栃木DCCにおいて、このチャンスを生かすには、地域の皆さん  
が主体となり官民一体となり  
り観光を盛り上げていく事が  
必要と言われております。更  
に秋には100回陶器市を迎えま  
す。大きな二つのイベントに  
町としてどのように取り組む  
のかお伺いいたします。

という形になります。皆で英知を集結しやつていきたい。心意気はあります。

町長

**町長** 行政としても全面的に様々なバックアップをして参りたいと思つております。この100回の時に出来ないところ、この後もずっと出来ないという形になります。皆で英知を集結しやっていきたい。心意気はあります。

**高橋** 地方創生の鍵は観光であると確信し地域間競争が激化する中、いかに宣伝・発言、集客していくかが

高  
橋

**高橋** 町長は民間出身です。民間感覚を持つたセンスの良い発想でこれからも町のリーダーシップをとり、取り組んで頂く事を期待します。

十分な擦り合わせも必要かと思ひます。どの様なバックアップと擦り合わせなのかお伺いします。

議会だより No.135  
年2月1日発行

※1 コーポレートアイデンティティ…独自性を統一のイメージやデザイン等で発信し、存在価値を高める戦略。  
※2 ディスティネーションキャンペーン…JRと指定された自治体等が共同で実施する大型観光キャンペーン。



直井 瞳議員

## 質問要旨

◆移住定住政策について

◆行政改革について

乗りましたら、研修に参加させたいと考えております。

## 新設「移住定住促進住まいづくり奨励金」について

益子に移住され住宅を取得購入される方に、

## 空き家バンク制度について

町内宅建業者と意見交換会を重ね、内容の調整を行つきました。今後は、積極的なPRのほか、空き家調査に基づくデータを活用し、空き家所有者への働きかけも行つてまいります。

重要項目として掲げた6項目は、概ね達成されております。なかでもまちづくり基本条例の制定は、協働によるまちづくりを進めるための基本的なルールを定めるものとして、策定委員として町民の皆様にもご協力いたしました。

今年度全町内を対象とした空き家調査が実施されました。今年度より開始される空き家バンク制度の基礎の進捗状況について伺います。

この奨励金は、一般財源より1千25万円拠出されています。現状の実績を踏まえ予算に余剰があれば、住宅購入以外に、賃貸物件の改修費用や家賃補助などが考えられます。が検討されています。

行政改革効果の裏付けとして財政的にどのくらい削減できたのか、数字では表せない取り組みもあるでしょうか、試算がありましたらお聞かせください。

第4次行政大綱5年間の効果といたしまして、人件費4千200万円、報酬4千400万円、そして報償費3千700万円の効果が出ております。

第5次行政改革大綱より有識者による外部評価を導入することとなりましたが、どのような人選、実施要綱になりますか。

## 移住サポートセンターの本格的運営を早急に

直井

道の駅ましこのオーパンに伴い、道の駅総合

窓口に移住サポートセンターが設置されました。現時点での成果と改良点について伺います。

町長 益子町に移住を検討されているお客様に対し、移住定住情報や各種制度をワントップでご案内できるよう設置いたしました。設置から一ヶ月半で相談件数は2件です。改善点といたしましては、移住専用サイトやガイドブック作成など移住情報の蓄積を早急に図つていくことが第一であると考えております。

直井 道の駅総合窓口がサポートセンターの窓口とし

て機能しているのか、看板やポスターなど移住に関する視覚的に見受けられず、疑問を感じます。

町長 視覚的にわかりづらいことですが、まだ情報等が十分に集まっているという状況であり、空き家紹介等の制度も整つておらず、本格的な運営には、もう少し時間が必要です。

直井 センター開設と同時に移住コンシェルジュが配置されました。相談者の接遇をはじめ、情報の収集や分析、処理能力など高いスキルが必要となります。育成のためには、どのような研修を実施しましたか。

鶴巣農 育成のための研修時間が取れていないのが実情です。今後、業務が軌道に

付3件、審査中1件となつており、問い合わせ件数は12件です。

直井 この奨励金は、一般財源より1千25万円拠出されています。現状の実績を踏まえ予算に余剰があれば、住宅購入以外に、賃貸物件の改修費用や家賃補助などが考えられます。が検討されています。

副町長 制度が始まり間もないこともあり、件数が少ない状況ですが、新たな補助制度の枠の拡大については、今のところ考えておりません。今後の成り行き等を見ながら検討していきます。

直井 第4次行政改革大綱5年間の効果といたしまして、自治会長を通じ実施された空き家調査の結果、177件の報告がありました。居住可能な75件ですが、2次調査を含め、急ぎ再調査したいと考えております。

鶴巣農 自治会長を通じ実施された空き家調査の結果、177件の報告がありました。居住可能な75件ですが、2次調査を含め、急ぎ再調査したいと考えております。

直井 第4次行政改革大綱5年間の効果といたしまして、人件費4千200万円、報酬4千400万円、そして報償費3千700万円の効果が出ております。

直井 第5次行政改革大綱より有識者による外部評価を導入することとなりましたが、どのような人選、実施要綱になりますか。

鶴巣農 施策評価についての外部評価につきましては、新ましこ未来計画の外部評価委員を充てたいと考えております。

## 行政改革の成果について

直井

第4次行政改革大綱が昨年度をもちまして実

行つて、今年のところ考えておりません。今後の成り行き等を

よろしくお聞きします。



# 日渡守議員

質問要旨

- ◆益子町の公共施設の安全・安心とバリア・フリー化について
  - ◆益子町における図書館建設について
  - ◆陶器市100回目を迎えることについて

**町長**の見解をお伺いします。図書館が必要であると、いう町民の思いは、常に頭に入っています。図書館建設については、今まで何度

**生涯学習課長**　図書館の運営形態については、県内の状況は直営が35%、指定管理が65%です。図書館建設については、建設の方向性が決まれば町民の声を反映させるために直営か指定管理なども含めて、運営全体を検討する組織も必要になつてくると考えます。

けて現在条例案の作成を進めている所ですが、100回目の陶器市に関連した事業において、この条例の趣旨に基づいた益子焼使用のPRができるよう、各関係機関に働きかけてまいりたいと考えています。

**町長** 段への手すりの設置、車椅子を利用される方のための駐車スペースの確保やトイレの設置・施設アプローチのスロープ化等、機を見て対応してきました。急速な高齢化社会に向かつて高齢者や身障者の方の自立した社会生活を確保し、安全に移動できるためのバリアフリー化はますます必要

**町長** 公共施設における洋式トイレの設置状況ですが、町では平成24年度に東日本大震災からの復興を図ることとおもてなしの意図も込めて、公共施設のトイレ洋式化を実施しどんどんどの場所に設置されている状況です。各学校については、まず中学校に関するして本年度全中学校においてトイレの洋式化に着手するため今回補正予算を計上させたところを頂きました。小学校につい

**日渡** 学校以外の公共施設に  
な限り対処してまいります。

図書館建設について

ては中学校終了後に実施をしていく予定になっています。

かお答えしたとおり、役場周辺の土地区画整理事業と一緒に検討してまいりたいと考え

## 陶器市100回目を迎える ことについて

日本に約3千200の図書館があり指定管理制度の導入割合は一割を超しています。図書館の運営に関して、直営方式か指定管理制度の導入かは早くから検討すべきと考えますが、町当局の見解を伺います。

に支援を考えてまいります。

**日渡** 100回目の陶器市に合わせて「益子焼を使おう条例」の実現を提案しますが、町長の見解をお伺いします。

**町長** 「益子焼を使おう条例」については、制定に向けて現在条例案の作成を進め

その財政と町民全体の意識の高まりを勘案し、建設については検討してまいります。そして、図書館建設の方向が決まれば、図書館建設委員会などを立ち上げ、町民の要望や意見を伺っていくことも必要であると考えております。

施すべきと考えますが、町長の見解をお伺いします。

**町長** 町民向けにも感謝すべきではないかという提案ですが、陶器市実行委員会に於いて十分検討して頂けるようお願いをす  
る所です。未来に向けて進化

**日渡** 公共施設の安全・安心と  
バリア・フリー化について  
公共施設内外の安全、  
安心及びバリア・フリー  
化を図るべきと考えます。寺

にかにまつて、今後も可能な限り対処してまいります。

壱書の重要性と関心

かお答えしたとおり、役場周辺の土地区画整理事業と一緒に検討してまいりたいと考えます。建設費やランニングコスト等財政を見据えながらの検討も必要になつてきます。

## 陶器市100回目を迎える ことについて



## 道の駅ましこについて

**加藤** 十数年以來の課題であつた「道の駅ましこ」ができました。

十数年以來の課題であつた「道の駅ましこ」ができました。オーブンして一ヶ月半が過ぎ、多くの来客者で賑わっています。「道の駅ましこ」の一部の工事が残っています。施設全体の完成はいつ頃になるのか。

**町長** 「道の駅ましこ」の未施工部といたしまして、屋外施設では北側の部分の多目的広場の整地と張り芝、施設外の樹木植栽、駐輪場の整備、駐車場の車止めの設置を行います。屋内施設につきましては日差しを防ぐブラインドの取り付け工事を年度内に完成する予定です。「道の駅ましこ」は町のおもてなしの玄関口でもあり、来場者の方に快適に利用して頂けるよう施設の維持管理に努めて参ります。

**加藤** 施設内において休憩する場所が少ない、商品の陳列がいまいちスッキリしない感じがします。これらの対応は考えているのか。

**加藤** 部長 善して頂くような形で進めていきたいと思います。参考までに今の建物の中の多目的室をフリースペースとして休憩に使用しています。

**加藤** 商品の陳列につきましては会社のなかで検討し、お客様の動線を考慮して陳列しています。今後もお客様の目線にあつた陳列、品ぞろえをしていきたいと考えています。

**加藤** 益子焼の器が数多く飾ってありますが、益子焼のイメージを伝えるには程遠

ります。

## 加藤 芳男議員

## 質問要旨

- ◆道の駅ましこについて
- ◆前沢町有林の整備について
- ◆特性を生かした地域創生について

い感じがします。展示品を見直す考えはあるのか。益子焼のイメージがすれてしまつて、「道の駅ましこ」の方でPRできるかという点では若干疑問点があるかと思います。あくまでも興味を持つていただいて、町内のほうに観光客をいかに誘導するかの一手法であることをご理解いただきたい。

本来「道の駅」は情報発信が主要役目であります。益子町の情報案内をしっかり発信して頂きたい。道の駅建設については、町民の半数に近い反対がありました。町長は「道の駅ましこ」を建設しました。これからが勝負と感じています。今後の方針、政策は。

起爆剤にして「農と食」「観光」の二つを益子の地場産業にする宣言を致しました。町民の皆さまが一緒になって益子の地場産業づくりに取り組んで、それができるかできなければ益子の未来は大きく変わると思います。未来のこれからの人口減少に歯止めを掛けたためにも「道の駅ましこ」を通じて、いかに有効求人倍率を増やせるか、町内総生産額を増やせるか、農業所得を増やすか、観光に携わる方々の職を増やせるか、商工業者の方々にもいろいろな商品づくりをしていく環境を創つて参りたいと思っています。

地元の有志団体が見廻りや草刈りなどの維持管理をして頂いています。雨巻山の山道を走る三回目のトレラン益子も関係団体により予定され、地域資産の有効な活用に寄与しています。羽地区から田野地区や七井地区へ山の尾根等を利用し、縦断するコースの整備も検討していると伺っております。新たな地域資産を生み出し、景観などを楽しみながらのトレッキングなどにつながると思いまます。町として様々な支援をして参りたいと考えています。

**加藤** 「道の駅ましこ」は里山が連なる環境をイメージした三角屋根が特徴です。地域総合案内の窓口として地域のコンシエルジュを配置して、益子の食、暮らし、文化の情報発信する交流拠点です。益子町の活性化に向け尽力して頂きたい。

## 特性を生かした地域創生について



# 高橋 正則議員

質問要旨

- ◆公共施設等総合管理計画について
  - ◆防災計画について
  - ◆子どもの貧困対策について
  - ◆総合教育会議について
  - ◆日本版DMOについて

**町長** 報 現在は各施設の基礎情報、現状の把握、維持管理費用、稼働実績など、調査を終え、その結果が一目でわかる施設カルテというものを作成しているところであります。

また、あわせて各施設の管理担当課から不具合状況、劣化状況を初め、施設の問題点など数値には現れない部分に

**高橋** 改修や更新時期を迎えるにあたり、現況や対応方針をまとめた公共施設等の総合管理計画の策定が第5次益子町行政改革大綱の4つの重点項目の1つとして計画されて

## 公共施設等の総合管理 計画について

実施方針を検討していきたいと考えています。

高橋 総合管理計画を策定するに、建物の解体費などに有利な地方債が使えるとか、国の補助金を充てることができるという話も聞いています。早急な策定を進めなければならぬと思いますが、執行部の考えをお聞きしたいと思います。

企画課 公共施設等総合管理計画につきましては、現

についてヒアリングを行つたところであります。今後は、施設の基礎情報をもとに、更新費用のシミュレーションを行い、公共施設の更新が集中する時期や経費などを想定する他、各課ヒアリングの結果から見えてくる問題や課題を整理し、それらを踏まえて将来の維持管理、修繕、更新等の

在進行中であります。計画書につきましては、本年度末までこきちんとものを作

町の防災計画について

**高橋** 益子町では、熊本地震の際に物資の支援、職

員4名を災害地に派遣し活動支援を行いましたが、そこで

得られた教訓はどのようなものか、またそれらを町の防災計画にどのように反映していくのか、また、災害時に時間の経過とともに必要な対応策が変わっていくと考えますが、現在の町の防災計画の対応についてお伺いをします。

体制、支援物資の管理、避難所の運営などがありました。現地に派遣した職員の経験を職員の全体朝礼の中で被災状況や受け入れ体制などを報告しました。また罹災調査研修会では、支援業務でありました住宅の調査方法などを説明しています。今後実践時に使

## 貧困家庭の子どもの 学習支援事業について

**高橋** 平成27年4月施行の  
活困窮者自立支援法

対象に行う学習支援事業に基づいた貧困家庭の子どもについて、町の現在の状況についてお伺いします。

**町長** 生活困窮世帯の子ども  
の学習支援について

に1回開催しているとの事。  
また最後に日本版DMOについて質問し、DMOの設立も見据え、観光戦略会議を証置し、観光客の誘客を戦略的に行うと新未来計画においても計画しているので、人材育成を含めて進めていきたいとの答弁をもらいました。

※その他、総合教育会議について会議内容、メンバーの構成、年間の会議開催の程度を質問し、総合教育会議は大綱の策定、教育条件の整備等、重点的に講ずべき施策、緊急の場合に緊急に講ずべき措置について協議、調整を行う場であり、町長及び教育長、教育委員をメンバーとしており開催時期については決まりはなく、現在は当初予算編成並

援や進学などの助言等を行い、学習習慣や生活習慣の確立や学習意欲の向上を図ることを目的に、学習支援等事業を実施しています。本町においては、平成27年5月から週1回実施されており、学習意欲の向上などの成果が見られるところから、本年8月からは、週2回となつております。



岩崎 秀樹 議員

## 町政運営について

## 町長

新たな地方公会計の整備については、原則として平成29年度までに全ての

## 質問要旨

◆町政運営について

ことを目途としている。合わせて町の説明責任を明確化するため全職員を対象とした研修会を実施している。

**岩崎** 平成26年度の財務4表は質問通告の時点で公開されていたが、平成27年度の財務4表の公開が遅れていったが、その原因は、

開催されたが、平成27年度の財務4表の公開が遅れていったが、その原因は、

**岩崎** 新公会計制度との整合性等、事務処理に時間を要し、決算の精査において若干遅れてしまった。

**金澤** 固定資産台帳の基となる保有資産の洗出し、評価はどの様にされたのか。

また、問題点はなかつたのか。

**岩崎** 27年度に支出したものを見込みで把握し、財務諸表に掲載した。

**金澤** 固定資産の中の土地の評価替えは行っているのか。

**岩崎** 3年に一度やり、調整予算を行い、システム内にデータを保管しているところ。平成29年6月までに全ての更新が終了する予定となっており、出納閉鎖後に仕分けしたデータの確認をし、平成28年度決算を平成30年3月に公表する

**金澤** 回収不能額については過去5年間の欠損額の見込額の基準はどの様になっているのか。

**岩崎** 職員の皆さんのが自主的に勉強会等を開催して早く覚えようとしている自治体もあるようだが、当町の動

しては、総務省のマニュアルに沿って新公会計制度に対応できるよう財務会計システムの更新を行っており、平成28年度当初予算編成から使用する。更に統一的な基準による財務書類の作成に向けたシステムとしても整備を進めてい

る。あわせて財務書類の作成に必要な固定資産台帳の整備も本年度中に作業を終了するよう進めており、平成28年度決算から統一的な基準による財務書類の作成ができる見込み」との答弁がありました。

新地方公会計制度への移行の進捗状況は、どの様に進んでいますか質問致します。

また、財務書類等の作成についても公会計システムにより分けを行い、システム内にデータを保管しているところ。平成29年6月までに全ての更新が終了する予定となっており、出納閉鎖後に仕分けしたデータの確認をし、平成28年度決算を平成30年3月に公表する

岩崎 平成27年12月議会で町長より『本町におきましては、総務省のマニュアルに沿って新公会計制度に対応できるよう財務会計システムの更新を行っており、平成28年度当初予算編成から使用する。更に統一的な基準による財務書類の作成に向けたシステムとしても整備を進めてい

る。あわせて財務書類等の作成による財務書類等を作成するには、原則と在作業を進めているところである。現在の進捗状況は、固定資産台帳は平成28年3月に整備が終了し、4月以降の資産の移動は固定資産管理システムにより随時更新している。

また、財務書類等の作成についても公会計システムにより分けを行い、システム内にデータを保管しているところ。平成29年6月までに全ての更新が終了する予定となっており、出納閉鎖後に仕分けしたデータの確認をし、平成28年度決算を平成30年3月に公表する

計上している。

**岩崎** 債権の分類はしていないのか。

**金澤** リース債務の取扱いは、金と長期借入金に分けて計上していないのか。

**岩崎** リース債務を短期借入金と長期借入金に分けコストとして計上。そこまで色分けしていない。

**金澤** リース債務の残額の累計はいくらか。

時代の流れを鑑みますと、持続可能な町政運営には経営感覚を持ち、行政運営のできる職員の育成は必要不可欠になつてくると思いまので、この辺の研修とか教育に力を入れて頂くよう要望致します。

**金澤** 時代の流れを鑑みますと、持続可能な町政運営には経営感覚を持ち、行政運営のできる職員の育成は必要不可欠になつてくると思いまので、この辺の研修とか教育に力を入れて頂くよう要望致します。

**金澤** そのような機運はまだ出てきていないので、研修会と合わせて、そういうものも醸成して行きたい。

**岩崎** そのような機運はまだ出てきていないので、研修会と合わせて、そういうものも醸成して行きたい。

1回は実施。それぞれ公会計の目的とか取引仕分勘定の試算表の作成など。複式簿記に慣れていないので、今後更なる研修が必要。

**岩崎** 5回の研修会を予定し、1回は実施。それぞれ公会計の目的とか取引仕分勘定の試算表の作成など。複式簿記に慣れていないので、今後更なる研修が必要。

**金澤** 議会だより134号の9月定期会一般質問の岩崎秀樹議員の記事の中において、発言者の表記が一部誤つておりました。5段目の町執行部の発言(3か所)は、総務部長ではなく産業建設部長です。訂正してお詫びいたします。



機部 浩議員

## 質問要旨

- ◆生活排水の現状について
- ◆長時間労働について
- ◆町道4号栗崎道祖土線の片側歩道の延長について

## 生活排水の普及率と基本理念

**機部** 県内汚水処理普及率によると、益子町は25市町の中でも22番目の63.7%である。

平成13年に策定された「益子町生活排水処理基本計画書」に基づいた、現在の進捗状況と今後の普及率についてどのように考えているのか。

**町長** 平成37年度を目標年度とする計画の見直しを平成22年度に行い「益子町生活排水処理基本計画書」に基づき、効率的な污水処理施設の推進を図るため、各生活排水処理施設の特性を踏まえ、経済性や水質保全効果、污水处理方法などを考慮して適正な整備手法の選定を行い、整備を推進している。

現在、公共下水道が3千902

名で16.3%、農業集落排水が2千325名で9.7%、合併処理浄化槽が9千21名で37.7%で、10年後に県平均値を上回ることは可能と考えています。

**機部** 接続区域内での未接続事業では24.7%、農業集落排水事業では6.9%で対応と未接続は、公共下水道の割合と対応は。

**町長** 事業では24.7%、農業集落排水事業では6.9%で対応としては、接続時に水洗便所改造成資金の融資あつせん制度による利子補給の助成を実施しています。

**町長** 確定申告、選挙、はが路ふれあいマラソンなどどうしても業務が繁忙な時期には、ある程度の長時間労働は致りますが、基本的に課長の指揮のもと時間外勤務命令を出し、そして労務管理をしっかりと実施していくということがあります。また、全職員を対象にメンタルヘルスチェックを実施し、その結果をもとに毎月実施している産業医の健康相談を受診してもらうなど、問題の発生を未然に防ぐ対応も行っています。問題となるケースは今現在は発生していないません。

**機部** 町職員が生き生きすることは町民へのサービスの向上につながる。現場の意見をどのように取り上げ対応されているか。

訪問しております。

## 役場の労務管理について

**機部** 長時間労働による過労死が問題となっている。長として庁内の対応をどのように考えているか。

**町長** 各担当において例えば未接続者に対するはどのような交渉をされているのか。

**機部** 基本的には臨戸訪問で直接お伺いして接続の意思を確認するなり、接続をお願いしているのが現状で、今年も現在までに132回実際に

**総務課長** 現場の声については各課の課長を中心にコミュニケーションを図って、その下に係長もありますので、常に日ごろコミュニケーションをとるように指導はしています。

と思つております。

**機部** 現場の声については各課の課長を中心としたコミュニケーションを図つて、その下に係長もありますので、常に日ごろコミュニケーションをとるように指導はしています。

**機部** 実際に人身事故がございました、それがきっかけで歩道を設置する事になりました。

**町長** 現在、栗崎交差点から東側の歩道の延長は多くの整備条件を満たしており、町長の決断のみで可能と思うが。

**機部** 線の篠崎民芸店からローソン益子店前トイレまでの片側の歩道の延長は多くの整備条件を満たしており、町長の決断のみで可能と思うが。

**町長** 現在、栗崎交差点から東側200メートル区間の改良及び歩道整備のため用地取得、物件移転補償の交渉を行っており、来年度から改良工事に着手する予定になっています。この改良工事が完了してから総合的に考慮して検討したいと考えています。

**機部** 今、建設課長より経緯の説明がありましたように、この区間に関してはそうした経緯はあるか。

**機部** 1級町道として建設してから40年経過している。歩道建設について一般質問された経緯はあるか。

**機部** 基本的に町道に関しまして、全体的な質問を受けております。その中に栗崎・道祖土線も含まれていた

と思つております。

**機部** 現場の声については各課の課長を中心としたコミュニケーションを図つて、その下に係長もありますので、常に日ごろコミュニケーションをとるように指導はしています。

**機部** 基本的に町道に関しまして、全体的な質問を受けております。その中に栗崎・道祖土線も含まれていた



長岡 景介 議員

## 質問要旨

- ◆子ども議会について
- ◆骨髓ドナー支援制度について
- ◆議場カメラ設置について

## 教員

成人した後に責任ある町民として権利と義務について理解し、社会参加の基礎を作ることの開催の目的は重要ですので、各方面と十分協議の上、第2回目が開催する条件が整った時には、前向きに検討させていただきたい。

した。現在学校におきましては、学校行事の主体的運営や多くの意見発表の場もあり、社会の一員としての教育活動に積極的に取り組んでいるところで、小中学校校長会の要望も今のところ無いので、第2回目は予定していません。自分が町政に少しでも関わって意見したこと、う良い経験をしたわけですか



## 骨髓ドナー支援制度を促す

## 長岡

主に白血病治療に貢献している骨髓バンク制度において、提供者であるドナーハーへの対策として、ドナー減少への対策として、ドナーへの経済的支援を制度化する自治体が増えています。

ですが、もし第2回目があるときには、1回目の子たちも知らせる事はしていないそうですが、仕事が休めないという理由で移植できないというケースもあり、その背景には、若者の非正規雇用が増えている現状があります。

休めばお金にならない本人と、休まれて困る会社に対してもどことなくとも見や提案を発表する機会づくりを通して、社会の一員として主体的に考え、社会参加への意識を育むとともに、行政に対する関心・理解を深めることを目的に行いました。彼らの質問や意見は、益子未来計画にほとんどが反映されま

## 町長

骨髓提供の際に7日程度の通院入院が必要とする費用が20万円とすると、町の財政負担は年間にしたら10万円になります。更に、バンクから骨髓の提供を受けた益子町の患者さんも3人います。

8市町が実施しています。ドナー登録の勧奨はやっていますが、ご提案としてお受けします。提供する側も受ける側も広がっている同制度が、益子町にもあってほしいと思います。

長岡 平成28年3月末現在の益子町在住のドナー登録者は162人です。毎年骨髓移植を希望する患者は2千人程度。一人以上のドナーが見つかる確率は6割。そのうち4割は移植に至りません。親族の同意が得られないとか、ドナーの健康診断でNGが出るとかあります。仕事が休めないという理由で移植できな

## 議場へのカメラ設置の提案

## 長岡

益子町議会の本会議場にカメラを設置して、定例会の様子を1階で流したり、一般質問をユーチューブにアップしたりしてはどうか。

足の悪い方も若者も、いつでもどこでも見られて、時間と空間のバリアフリーになる。費用も200万円程度で済むし、その後の経費もかけなくてもらえるので、検討してはどうか。

24年間の中で、私以前にバンクを通して骨髓を提供していった上で必要となるべき、検討してまいりたい。

私は自身がドナーとして自分の骨髄を提供する経験をしたので、この質問をしています。

## 第2回こども議会を開いてはどうか

## 長岡

平成21年11月に第1回こども議会を開きました。参加してくれた29人の中で15人が質問・提言をしてきましたが、その中で、すでに具体化されている事、計画に入っている事があれば伺いたい。又、第2回目は予定しているのか伺います。

第1回こども議会は、小中学生が積極的に意見や提案を発表する機会づくりを通して、社会の一員として主体的に考え、社会参加への意識を育むとともに、行政に対する関心・理解を深めることを目的に行いました。彼らの質問や意見は、益子未来計画にほとんどが反映されま

した。現在学校におきましては、学校行事の主体的運営や多くの意見発表の場もあり、社会の一員としての教育活動に積極的に取り組んでいるところで、小中学校校長会の要望も今のところ無いので、第2回目は予定していません。自分が町政に少しでも関わって意見したこと、う良い経験をしたわけですか

長岡 平成21年11月に第1回こども議会を開きました。参加してくれた29人の中で15人が質問・提言をしてきましたが、その中で、すでに具体化されている事、計画に入っている事があれば伺いたい。又、第2回目は予定しているのか伺います。

第1回こども議会は、小中学生が積極的に意見や提案を発表する機会づくりを通して、社会の一員として主体的に考え、社会参加への意識を育むとともに、行政に対する関心・理解を深めることを目的に行いました。彼らの質問や意見は、益子未来計画にほとんどが反映されま

した。現在学校におきましては、学校行事の主体的運営や多くの意見発表の場もあり、社会の一員としての教育活動に積極的に取り組んでいるところで、小中学校校長会の要望も今のところ無いので、第2回目は予定していません。自分が町政に少しでも関わって意見したこと、う良い経験をしたわけですか

長岡 平成21年11月に第1回こども議会を開きました。参加してくれた29人の中で15人が質問・提言をしてきましたが、その中で、すでに具体化されている事、計画に入っている事があれば伺いたい。又、第2回目は予定しているのか伺います。

# 議会行政視察研修報告

◆研修日  
平成28年10月4・5日

## 【空き家対策と起業支援】

群馬県  
下仁田町

下仁田町では、昭和60年から空き家等利活用推進事業を開始しました。平成20年度に再度空き家調査を実施し、23年度にはホームページに物件情報を掲載。空き家の状況調査後、508件の空き家をデータベース化しました。

また、空き家・空き店舗の活用で、起業を目指す定住者への改修費用等の2分の1を補助する「空き家等利活用起業支援補助金制度」も開始。現在では、移住希望者を支援するため下仁田町暮らしの相談窓口を開設しており、空き家バンクの登録物件46件中成約及び交渉中の実績は19件。空き家の状態や相続などの課題もあるとのことです。参考になる事例でした。

長野県  
佐久穂町

【小中一貫教育】  
佐久穂町では、平成19年から検討委員会を立ち上げ、「適正規模の人数でわが町に根付く特色ある教育を」を大前提に提言書を提出。その後検討を加え、27年度に小中一貫教育・校舎一体型の開校となりました。



長野県  
軽井沢町

【観光への取り組み】  
軽井沢町では、自然保護・景観保護に努めていくことの重要性を伺いました。事実街中の看板等の色づかいの統一、古い看板の放置も無く、観光を意識した厳しい条例を設け取り組んでいました。

また、観光行政を進めるにあたっての、「軽井沢の為になるのか」「地域の為になるのか」を常に念頭に据え、将来に向けた「夢を語り」あるべき姿に向け行動に移すとの考えは、益子町にとっても大きな学びになりました。

【議会活性化】  
通年議会制の導入により、「閉会中の期間」が無くなり、チエック機能の強化など議会の機能性が高まつたほか、常任委員会では年間テーマを決めて主体的に運営中とのこと。議会基本条例では、町民の政策に反映させるべきところ、出前聞き取り会の参加者が少なく、意としない意見が多いのが課題とのこと。我々にとってもクリアしなければならない問題だと感じました。

11・13 教育厚生常任委員会  
10・25 町歴史文化基本構想等について審議しました。

10・25 総務産業常任委員会  
11・24 平成館について審議し、説明を求めました。

11・24 就労継続支援事業所（益子マインド・アグリ益子・手仕事工房そら）の現地調査をし、話を伺いました。  
城内坂にて駅伝競走激励

益子町においても議会基本条例を制定しました！

## 益子町議会基本条例（概要）

議会と町長という二元代表制のもと町民の代表機関として、持続的な活力ある町づくりと町民の生活及び福祉の向上を目的とする。

議会は、町民に開かれた議会を実現し・政策の立案及び提言を推進するため政策討論や議員間討議を行い・町の事務執行について監視及び評価を行う。

議会は、町長等に対し政策等の説明を求めることができ、質疑応答において的確に回答を求めるものとする。

議会は、町民への報告及び意見交換の場として議会報告会を行う。

議員は、町民の負託に応えるよう資質の向上及び政策能力の強化を図る。倫理性を自覚し地位に基づく影響力を不正に行使することなく行動する。

# 議会を傍聴して



木村 優子さん  
主婦 (道祖土)

しか見えないのは残念でしたが、町長さん、町の役職の方々のお顔ははつきり見えました。質問では、議員さん自身の本への思いに始まり、未来を担う子どもたちの豊かな心を育むために、読書とその環境づくりがどれほど大切かと、切々と述べられる真摯な言葉に感動いたしました。

處、ユートピアです。豊かな自然、温かい人々、情熱を傾ける様々な作り手たちに囲まれ、充実した毎日です。

でもアレ、何か足りない！

そう、図書館が無いのです。いろいろ聞いているうちに、長年図書室ボランティアを続けながら「益子に図書館」と訴えている方々のことを知りました。今回12月の議会でその代表者の議員さんが質問されると聞き、初めての議会傍聴に参りました。

シンと静まり返った中で、真剣な質問が始まりました。傍聴席からは議員さんの背中

## 議会日誌

11月

- 4日 芳賀北部広域行政推進協議会要望活動
- 9日 町村議会議長会全国大会
- 10日 芳賀郡市議会議長会自治研修会
- 13日 教育厚生常任委員会（町駅伝大会激励）
- 18日 県議長会議員研修
- 21日 議会運営委員会
- 22日 芳賀郡市町議会議長会定例会
- 芳賀広域行政事務組合議会臨時会
- 24日 全員協議会
- 総務産業常任委員会
- 教育厚生常任委員会

12月

- 1日 第151回定例会（～6日）
- 6日 議会基本条例策定特別委員会
- 22日 議会だより編集特別委員会
- 26日 芳賀広域行政事務組合議会定例会
- 27日 議会運営委員会

1月

- 17日 議会運営委員会
- 18日 議会基本条例策定特別委員会
- 19日 芳賀北部広域行政推進協議会（～20日）
- 25日 全員協議会
- 総務産業常任委員会
- 教育厚生常任委員会

## あなたも議会を傍聴しませんか

次回 3月2日(木) 10時 開会予定

本会議当日、議会事務局（役場庁舎3階）で傍聴券を交付します。予約は不要です。



### 【第151回定例会賛否一覧】

○…賛成 ●…反対 ※議長は採決には加わらない（賛否が分れたもののみ掲載）

議員名	採決結果	直井睦	高橋家光	磯部浩	廣田茂十郎	小島久之	高橋美江	日渡守	岩崎秀樹	河原壽誠	星野芳男	加藤景介	長岡秀夫	黒子富子	高橋正則	小島美晴
議案等																
地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○

議会だよりNo.135 2017年2月1日発行

●発行／益子町議会

●編集／益子町議会だより編集特別委員会

栃木県芳賀郡益子町大字益子2030番地

TEL:0285-72-8858・8859 FAX:0285-72-0900

HP <http://www.town.mashiko.tochigi.jp/>

E-mail [gikai@town.mashiko.lg.jp](mailto:gikai@town.mashiko.lg.jp)

■印刷／有あらい印刷